

令和4年度経営評価委員会質疑応答事項一覧表

No.	質問事項	回答	議事録記載 ページ数
1	南会津病院の病床利用率が目標値を下回っている理由は。	二つある病棟のうち一つをコロナ患者の受入に充てており、一般の患者は今でも半分しか病床を利用していないため。	問：2 答：2
2	南会津病院の病院機能評価を活用した点検状況で、「画像診断機能を適切に発揮している」が悪化した理由は。	常勤の放射線医がいないため。	問：2、3 答：5
3	南会津病院の経営分析の4、入院患者数の令和3年度と令和2年度の差と経営分析右側の収益増減理由の欄の入院患者数の増減数はどちらが正か。	4の経営分析、入院患者数（2, 215人）が正	問：3 答：5
4	南会津病院で入院単価が令和2年度年比で7, 517円上昇した理由は。	委員会で回答ができませんでしたが、下記のような理由です。 整形外科医が通年常勤となり、手術件数が増加したこと、新型コロナウイルス感染症の抗ウイルス薬の有料化により診療単価が上がったことなどによるもの。	問：3 答：-
5	宮下病院の逆紹介率の上昇、外来患者数の増、外来診療単価の減の関係をどのようにとらえているのか。	新型コロナワクチン接種で、外来患者数が増えている一方で、外来単価は、ワクチン接種が増えたことによって単価が下がっている。 会津医療センターや坂下厚生病院で診療していた患者を在宅で診て、また元の病院へ戻す事例などがあり、逆紹介率が上がっている。※注記あり	問：3 答：4、9

※ No. 5 宮下病院の逆紹介率が上昇している理由について、委員会の中での回答について誤りがありましたので、下記のとおり議事録及び本紙を修正させていただきます。

- (誤) 奥会津在宅医療センターの関係で、会津医療センターや坂下厚生病院で診療していた患者の紹介を受けて在宅で診ているため
- (正) 奥会津在宅医療センターの関係で、会津医療センターや坂下厚生病院で診療していた患者を在宅で診て、また、元の病院に戻す事例などがあったため

令和4年度経営評価委員会質疑応答事項一覧表

No.	質問事項	回答	議事録記載 ページ数
6	矢吹病院の紹介率が大きく下がったものの、入院患者数がさほど下がらなかった理由は。	精神科の場合、外来に直接来院された患者が入院となるケースが多く、紹介率と同じ割合で入院患者が減ることはないため。	問：3 答：4、5
7	ふたば医療センター附属病院で給与費が3名分増加して6,493万円増となっているが、6,493万円の内訳は。	看護師が増えたほか、令和2年度まで来ていた他県の看護師3名の応援がなくなり、その分の正規職員を配置した分の給与費となっているため。	問：3 答：4、5
8	ふたば復興診療所の4の経営分析で、外来診療単価が5,663円と下がった主たる理由は院外処方に切替えたためであるか。	お見込みのとおり。 令和3年3月から院外処方を全面切替えたことに伴う薬剤費、材料費の減少に伴い、診療単価が減少したものの。	問：3、4 答：5
9	南会津病院の病院機能評価の評価結果でA評価からB評価に6項目悪化している理由は、コロナの他にも何かあるのか。	病院機能評価の訪問審査があり、病院側とは異なった視点から厳しく見られている部分があり、評価が下がったため。	問：5 答：9
10	事務局レベルで精神科救急に予算、マンパワーを含めて、今後どのように取り組むというお考えか教えていただきたい。	第3次救急やスーパー救急は、現時点で具体的な検討をしていない。 まずは児童思春期と医療観察の病棟を円滑にスタートさせるというところに注力している。	問：7 答：8
11	精神科の救急医療情報センターの窓口の一本化など、障がい福祉課と連携し、検討いただきたい。	障がい福祉課などとも十分話し合い、精神科救急医療システム連絡調整委員会などにも意見を伺いながら、どういった形でできるか今後検討していきたい。	問：8 答：9